

(H28-014)

平成28年6月10日

起業支援ファンド「GMO VenturePartners 4 投資事業有限責任組合」に 出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下、中小機構)は、新事業開拓促進出資事業(ファンド出資事業)において、GMO VenturePartners 株式会社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として15億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『GMO VenturePartners 4 投資事業有限責任組合』(以下、「本組合」)は、国内産業の「インターネットコンバージョン(インターネットを使った産業活性化)」をテーマに、既存産業×インターネットでの高効率化の分野で起業するスタートアップへの投資を行い、海外展開支援を含めるハンズオン支援を通じて投資先企業の育成に努めながら、企業価値の向上を目指すファンドです。

中小機構では、本組合への出資を通じて、日本の新たな産業創造と日本発グローバルで活躍するベンチャー企業の育成を促進することで、日本経済の活性化につながるものと考えております。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援してまいります。

(制度の内容及び実績について)

起業支援ファンドについて

<http://www.smrj.go.jp/fund/gaiyo/053658.html>

中小機構ファンド事業出資実績

http://www.smrj.go.jp/fund/chosa_joho/038547.html

【本件に関するお問い合わせ先】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部ファンド事業課 (岡、坂本)

住所：〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03 - 5470 - 1673 (ダイヤルイン)

ホームページ：<http://www.smrj.go.jp/fund/index.html>

◆「GMO VenturePartners 4 投資事業有限責任組合」の概要

- 「GMO VenturePartners 4 投資事業有限責任組合」は、GMO VenturePartners 株式会社(東京都渋谷区・熊谷 正寿代表取締役)を無限責任組合員として、平成 27 年 3 月に設立された投資ファンドです。
- GMO VenturePartners 株式会社は、平成 17 年の設立以来、インターネット分野を中心に国内外の有望ベンチャー企業等に投資し、営業支援、経営支援などを積極的に行うハンズオン型ベンチャーキャピタルです。

(スキーム図)

